

令和6年8月26日

鮫川村長 宗田 雅之 様

まち・ひと・しごと創生有識者会議
会長 薄葉 正勝

鮫川村デジタル田園都市国家構想総合戦略について（答申）

本会は、鮫川村デジタル田園都市国家構想総合戦略について検討した結果、意見を取りまとめましたので下記により答申します。

急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少の歯止め、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある社会を維持していくためには、村民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進し、計画的に実施することを要望します。

記

- 1 村を愛して暮らし、村を大切に思う人たちとふれあい、思いを伝え合う機会の創出を図ること。
- 2 鮫川村の豊かな里山の景観とその文化の知恵や技を学び、その継承に努めること。
- 3 「人が集まる美しい村づくり」の実現に向けた、取組みを強化すること。
- 4 オーガニックビレッジ推進事業の強化を図ること
- 5 これまでの地方創生の取組みについても、改善を加えながら推進し、EBPM^{**1}による事業の転換を図ること。
- 6 デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化すること

※1 EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案）とは、政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化したうえで合理的根拠（エビデンス）に基づくものとする事です。